千剣連だより

発行：(一財) 千葉県剣道連盟【広報委員会】　所在地　〒263-0024 千葉市稲毛区穴川 2-3-20
TEL 043-285-4331　FAX 043-285-4333　ホームページ http://www.chiba-kendo.or.jp

関東七県 惜しくも 準優勝

第61回 関東七県対抗剣道大会

監督　染谷　恒治（柏市）
選手
先鋒　境　桃花（夷隅）
次鋒　関川紗衣子（夷隅）
六将　吉井　加恵（船橋市）
五将　中田竜之介（習志野市）
四将　筒井　雄大（夷隅）
三将　髙橋　直樹（山武）
副将　蒔田　直人（夷隅）
大将　白石　哲朗（千葉市）

第六十一回関東七県対抗剣道大会が七月二十四日、茨城県武道館で行われました。

三年振りの開催となったこの大会、先月からの新型コロナウイルス感染症の急激な感染拡大で、開催も心配されましたが、茨城県剣道連盟の役員・関係者の皆様方のおかげで、感染防止対策を徹底した上で実施することができました。

予選リーグ

2組	千葉県	茨城県A	山梨県	栃木県	順位
千葉県		○ 3/2	○ 5/3	○ 3/3	1
茨城県A	△ 2/1		○ 7/4	△ 3/2	3
山梨県	△ 4/2	△ 5/3		△ 4/1	4
栃木県	△ 2/2	○ 7/5	○ 8/5		2

決勝戦

神奈川県 ○ 4/2 ┐
千葉県 △ 1/0 ┘ → 神奈川県

前日の調整稽古においては、忍足会長から「コロナ禍で充分な稽古ができなかったかもしれないが、全力を尽くして頑張って欲しい」との激励を受け試合に臨みました。

予選リーグは第2組、千葉県、茨城県A、山梨県、栃木県という組み合わせでした。

第一試合は前回優勝した茨城県A、初戦の硬さから接戦になりましたが、終盤の逆転で2対1で勝利、続く二試合目、山梨県との対戦は女性陣の頑張りで3対2で勝利しました。

三試合目は本年の国体開催地、栃木県との対戦になりました。国体に向けた強化を積み重ねて来ただけあって試合の動きも良く接戦が予想されました。

序盤は1対2でリードを許しましたが、ここでは男性陣が踏ん張り2勝をあげ3対2で勝利。決勝進出を果たし、神奈川県との対戦になりました。

選手8名のうち警察官5名を擁する神奈川県に対し、選手全員が攻めの試合を展開しましたが惜しくも0対2で敗れました。

今後は本大会の経験を生かした稽古に取り組み、関東ブロック予選、そして本国体に向けた準備をしていただければと思います。

最後になりますが、関係各位の選手強化事業へのなお一層のご支援・ご協力をお願い申し上げ、大会報告とさせていただきます。

監督　染谷　恒治　記

令和3年度 全日本剣道連盟有功賞受賞

「剣道有功賞」は、地域または特定の領域で、長年に亘って功績のあった方が表彰されます。令和三年度、千葉県では次の二名が受賞されました。

金田 重興

（76 歳）

山武剣道連盟において各役職を歴任し、連盟の組織化を図り、女子部の創設や少年指導、後進の育成等、連盟の発展に大きく付与した。

また、教育長在任期間中には山武市内の中学校武道必修化に向けて尽力し、各方面から剣道の普及に大きく貢献した。

細根 征夫

（78 歳）

昭和五十四年に眞心館道場を開館。以来、一般の稽古に開放し、少年の指導を続ける。

平成一五年より十年間、小見川剣道連盟会長を務める。

平成二十七年より香取剣道連盟会長として後進の育成に尽力する。

染谷恒治先生に聞く

第二十回全日本選抜剣道八段優勝大会 優勝までの道のり

令和四年四月十七日（日）、愛知県名古屋市・中村スポーツセンターにて開催された第二十回全日本選抜剣道八段優勝大会。この大会で染谷恒治先生（千葉県警）がみごと優勝を飾りました。この大会の前身である第二十四回明治村剣道大会において現会長 忍足功先生が準優勝をされておりますが、それを上回る千葉県では初となる輝かしい成績です。

その染谷先生に八段選抜優勝までの道のりをお伺いしました。

自身の八段選抜大会の位置づけは

平成三十年の第十六回大会において初めて選抜されましたが、それまでは八段選抜は私にとっては別世界の大会でした。名だたる名選手が選出され、技を競い合う、剣道における最高峰の場所だと感じていました。そこに選出されるとは思っていなかったので、特にこの大会に向けて特別に何かをするというような準備はしていませんでした。

Photo: Kendo-World

第十六回大会では三回戦で石田利也先生に敗れました。敗れたあと、試合を観戦しながら、どのように勝負をすればよいだろうかとシュミレーションしていました。

翌年の第十七回大会では二回戦で前年度優勝の恩田浩司先生（東京）に敗れました。

今まで各種大会等を経験させていただきましたが、八段戦という、また違った試合の難しさを改めて感じさせられました。

その後、新型コロナウイルス感染拡大の影響で第十八回大会は中止。第十九大会には直前で出場することができなくなりました。

コロナ禍において どのような稽古をしていたのか

稽古ができない期間は素振りや足捌き、稽古ができるようになってからも基本練習をしていました。十分でも二十分でも時間を作って基本練習。試合でも審査でも体を前に出すという点において、基本練習は最も重要な稽古です。自ら仕掛けて技を出す、常に打ち切ることを意識しながら、剣道ができる体と心を作りたかったのです。

とにかく自分の理想とする剣道からぶれずに、まっすぐ打ち切ること。この稽古を繰り返していました。

三年ぶりの選出 今大会に対する意気込みや対策はあったのか

大会前にどのような先生方が出場するのかということは、少しだけ確認しましたが、対戦相手が誰であるから対策を考えるような意識はありませんでした。対戦相手は様々な大会で結果を残してきた名選手ばかりです。自分の剣道をして、試合ひとつ一つを乗り越えていくだけ。そういう感覚で臨みました。

この大会、いちばん苦しかったのは二回戦の恩田先生との対戦でした。前回敗れているますので、恩田先生の誘いに動じないよう我慢して、こちらもしつこく攻めて崩すことを心がけました。

その後の対戦も自分の剣道を貫くことだけを心掛けた結果、優勝することができました。

「今回の大会では結果を残すことができましたが、もう終わったことです。これからもこの貴重な体験をもとに、自分の剣道に生かしていきたいと思います。」

と残心をしめしてくれた染谷先生。さらなる活躍を期待しております。

（令和四年七月三十日）

各種大会・講習会等報告

東日本中央講習会 伝達講習会
4月16日（土）・県武道館
講師　軽米　良臣
受講者　59名

第53回千葉県剣道演武大会
4月10日（土）・県武道館
参加者　剣道 130名・居合道 20名
立身流 2名・杖道 10名

県民体育大会二部（国体選考会）
5月21日（土）・県武道館
成年男子　先鋒　中田竜之介（習志野市）
次鋒　筒井　雄大（夷隅）
中堅　髙橋　直樹（山武）
副将　蒔田　直人（夷隅）
大将　白石　哲朗（千葉市）
成年女子　先鋒　境　桃花（夷隅）
中堅　関川紗衣子（夷隅）
大将　吉井　加恵（船橋市）
参加者　男子 112名・女子 41名

剣道講習会（六段限定）
5月28日（土）・成田市体育館
講師　軽米　良臣
参加者　54名

第51回千葉県女子剣道選手権大会
7月6日（土）・県武道館
結果　優勝　大西　希望（千葉市）
準優勝　田添　千尋（君・木）
第三位　永井　杏奈（成田）
鬼塚　彩乃（君・木）
参加者　99名

幼少年指導者講習会
7月9日（土）・県武道館
講師　岩切　公治　髙橋　進一
参加者　80名

剣道講習会（七段以上）
7月10日（日）・県武道館
講師　忍足　功　岩井　啓能
柿原　直人　軽米　良臣
参加者　101名

審査会報告【合格者名簿】

剣道六段（京都 4月29日）
日野　厚子（千葉市）
平野　和美（匝瑳）
吉田　智（習志野市）

剣道七段（京都 4月30日）
川崎　洋一（船橋市）
深堀　和紀（旭）
石井　健広（佐倉）
金澤　富雄（成田）
小川　仁士（夷隅）

剣道八段（京都 5月1日）
須合　康二（匝瑳）

居合道錬士（東京 5月3日）
卜部　和夫（居合道）

剣道教士（東京 5月6日）
岩崎祐一郎（千葉市）
深田　和広（船橋市）
金　浩昭（市川市）
堀田　義雄（松戸市）
古野　伸（匝瑳）
江澤　秀和（夷隅）
高瀬　利武（夷隅）
作山　浩隆（君・木）
小幡　裕之（館山）
宇津野徳利（千葉市）
辻　勝之（船橋市）
横山　純一（松戸市）
上田　泰久（成田）
飯島　照美（長生）
田中　陽一（夷隅）
小山　和利（君・木）
伊賀妃都美（市原市）
浜田　穂積（柏市）

剣道錬士（東京 5月6日）
鈴木　順（千葉市）
竹崎　一誠（船橋市）
田中　正實（船橋市）
小髙　忠（長生）
伊南　俊男（君・木）
西長　義和（市原市）
菅野　隆（八千代市）
本村　修（千葉市）
大塚　和幸（船橋市）
安田　春暁（野田市）
新藤　一（君・木）
佐々木信次（長狭）
後藤　末勅（流山市）

剣道七段（愛知 5月14日）
鈴木　基弘（千葉市）
石崎　哲理（松戸市）
石坂　洋介（旭）
安藤　一博（君・木）
澁谷　宏（船橋市）
渡邊　正男（成田）
嘉瀬　和志（山武）
近藤　祐介（市原市）

剣道六段（東京 5月15日）
髙橋　大輔（千葉市）
常住　勝次（千葉市）

居合道六段（岡山 7月22日）
中村　裕太（市川市）
柴田　文子（市川市）
安部　智（成田）
土方　浩規（香取）
梅野　浩（佐倉）
藤村健太朗（市川市）
青木　稔（松戸市）
木暮　浩良（成田）
秋元　誠道（柏市）
坂本　康貴（浦安市）

居合道七段（岡山 7月22日）
中島　進（居合道）
髙橋　謙一（居合道）

剣道五段（県武道館 8月14日）
二木　翔大（千葉市）
大崎　修平（千葉市）
森川　利典（千葉市）
白神　和幸（習志野市）
大橋　健太（船橋市）
武村　浩希（船橋市）
長谷川藤生（船橋市）
三原　大和（市川市）
佐藤　享男（市川市）
小山　哲平（松戸市）
佐野　遊太（成田）
西　宏文（山武）
東間　一博（長生）
ファウスト サンティアゴ ルシェ（夷隅）
田村　駿（君・木）
丸山雄太郎（長狭）
荘司ちひろ（市原市）
石河　佳樹（柏市）
神田　泰貴（柏市）
百瀬雄一郎（柏市）
山田　峻平（八千代市）
梅田　静華（八千代市）
曽我部安啓（千葉市）
管家　寿一（千葉市）
形野　雄紀（千葉市）
中野　英之（習志野市）
山口　敦（船橋市）
佐々木善丈（船橋市）
鈴木　義信（船橋市）
曽根田和久（市川市）
伊藤　雅人（市川市）
小菅　祥平（野田市）
早川　真央（成田）
中村　友治（長生）
白鳥　源也（夷隅）
栗原昂太郎（君・木）
柏井　守（君・木）
川崎　沙月（市原市）
石井　堅也（館山）
小笠原　剛（柏市）
宮田　伸一（柏市）
塚副　貴子（我孫子市）
正木　行雄（八千代市）

剣道四段（県武道館 8月14日）
松村　雄太（千葉市）
田坂　一美（千葉市）
藤河　直美（習志野市）
大野　慶悟（船橋市）
時岡　大悟（船橋市）
阿部　貴則（船橋市）
髙須　愛梨（船橋市）
廣瀬亜沙美（船橋市）
林　理津子（船橋市）
城村健太郎（市川市）
伊藤　文季（千葉市）
渡辺有希乃（千葉市）
田中　大陸（船橋市）
齋藤　和（船橋市）
後藤　淳（船橋市）
柴田　愛美（船橋市）
増田　晴日（船橋市）
永島　朋子（船橋市）
山口　真生（市川市）
住友　博之（市川市）

剣道七段（福岡 8月6日）
井上　大基（松戸市）
加瀬　利樹（松戸市）
松尾　俊直（成田）
永井　杏奈（成田）
中野　美里（成田）
山本　百合（成田）
坂本　晴信（山武）
髙山　裕司（長生）
髙橋　未来（長生）
大島　健輔（夷隅）
酒巻こころ（夷隅）
小川　真生（夷隅）
渡邊　雄紀（君・木）
下田　隆平（長狭）
近藤　海斗（市原市）
深野　晶博（柏市）
小林　秀人（流山市）
白川　実（鎌ヶ谷市）
花島　慶和（佐倉）
浅野　師範（浦安市）
我妻　英典（浦安市）
松丸　宏志（松戸市）
小西有里沙（松戸市）
堀部　大（成田）
山村　彩乃（成田）
山下　璃子（成田）
梶ケ谷正人（匝瑳）
大谷　洸多（山武）
藤間　翔栄（長生）
永谷　泰雅（夷隅）
境　明日花（夷隅）
山口菜々実（夷隅）
高野　菜央（夷隅）
越田　佳朋（長狭）
黒須　陽介（市原市）
三瓶　利理（安房）
佐々木正典（我孫子市）
菊地晃太朗（鎌ヶ谷市）
鍋島　大（鎌ヶ谷市）
月田　慶子（佐倉）
永友　昌彦（浦安市）

剣道七段（福岡 8月7日）
野口　康仁（千葉市）

剣道六段（福岡 8月7日）
仁ノ平貴士（市川市）

剣道七段（新潟 8月20日）
眞田美智子（千葉市）
加藤　龍雄（船橋市）
橋本　修一（匝瑳）
松田　洋平（夷隅）
小谷　明徳（館山）
樋口寛次郎（千葉市）
小松　梓（成田）
小関　歩（長生）
中川　智樹（安房）
賀澤　信治（柏市）

剣道六段（福岡 8月21日）
柴崎　明（千葉市）
井上　満（船橋市）
松島　央（市川市）
堀越　史生（野田市）
熱海　吉宏（山武）
山本　大喜（夷隅）
岩田　圭一（夷隅）
上田　睦史（八千代市）
日賀野　博（習志野市）
小谷　惇（市川市）
高原　一祥（市川市）
関口　博幸（香取）
小髙　理文（長生）
岩崎　聖（夷隅）
熊谷　省吾（市原市）

クロスオーバー（地区剣連通信）

千葉市剣道連盟加盟団体紹介

千葉市は県内でも最高の人口を有する県都です。剣道人口も多く一般会員で初段以上の段位取得者は約600名です。

千葉市剣道連盟には少年部が附置しており、小学生から中学生までが活動している43の剣友会と30校の中学剣道部が登録していますが、今回は中でも活発に活動している3剣友会を紹介いたします。

上の台剣友会

■稽古場所
上の台小・稲浜小体育館、幕張本郷中学校武道場、幕張総合高校武道場

■稽古日
水・土・日

■会員
小学生23・中学生20・一般35

■活動状況
当会は昭和五十八年に発足、今年で創立三十九周年となります。

週3回の稽古を通年実施しておりましたが、稽古場所については新型コロナの影響を受け一度に入れる人数制限がかけられているところもあるため、稽古時間を工夫し実施しています。

面マスクやフェイスシールドなど新たな規制に少々の戸惑いを感じつつ、それでも幼稚園生から年配者まで元気に稽古をしています。

小中台剣友会

■稽古場所
小中台小学校体育館

■稽古日
木・土・日

■会員
小学生31・中学生16・一般29

■活動状況・目標・剣道以外の行事
昭和四十五年の発足以来、千葉県警察のご厚意によりタッチヤング活動（警察職員と少年の心のふれあいを通じ、規範意識や自制心などを育み少年非行の防止を図る）を拠り所として活動しており、心身ともに「正しく・強い剣道」を目指して、年齢・体力・習熟度に応じた指導を行っています。

特に礼節と礼儀には重きを置き、日日の剣道精進を通じ、目上を敬う心と上級生が下級生の面倒を見る習慣の中から和と協調の精神を涵養しています。また、各種大会・錬成会・合同稽古会に積極的に参加することで、他剣友会と切磋琢磨しつつ、交剣知愛の心を育んでいます。

合宿やバーベキュー・クリスマス会など部内行事も充実しており、保護者の協力体制のもとで相互の親睦を深め、子どもたちが末永く剣道を続けてもらえるよう指導しています。

少年剣道五常之会

■稽古場所
大椎小学校・あすみが丘小学校・土気南小学校・土気南中学校

■稽古日
月・火・木・土・日（第2・第4）

■会員
小学生21・中学生11

■活動状況・目標・剣道以外の行事
少年剣道五常之会では、儒教の教えを参考に誓いの言葉を唱和して稽古に励みます。

仁…思いやりのある優しい人に。
義…世の為人の為に尽くす人に。
礼…礼儀正しく心の清らかな人に。
智…善し悪しの分かる人に。
信…偽りのない心の素直な人に。

そして剣道を正しく真剣に修行し心と身体を鍛えることを目標としています。

主な行事は、一日稽古会（午後・奉仕活動）、部内大会（春・秋）、合宿、稽古納め、稽古始め（レクリエーション有）、その他対外試合などです。

行事の際には大人の部である無門館や心和婦人教室から大勢の方の協力があり、更なる賑わいを増しております。

子供から大人まで、初心者から経験者まで剣道に末永く携わっていただけることを期待して、日々活動しています。

お知らせ

行事に関するお知らせは連盟ホームページに掲載いたします。

千葉県剣道連盟ホームページ

編集後記

◎毎号4頁に連載している「クロスオーバー（地区剣連通信）」は、今号より各地区連盟傘下団体をセレクションしていただき紹介していきます。どうぞ、よろしくお願いします。

広報委員会　青木薫弘・時村尚孝　原田辰明・完倉正師